



# 南魚沼市

## 12月定例会

12月3日～12月14日  
傍聴者 **51人** (延べ)

# 議会だより

No. 57 2019年2月1日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 小澤 実  
●編 集：議会広報編集特別委員会

一般質問録画映像の配信 始めました!

南魚沼市議会 録画配信

検索



### 坂戸山から臨む

平成30年度補正予算、12月定例会議案審議	2・3
12月定例会議決結果	4
一般質問 <b>16名が市政を質す</b>	5～10
注目の事業	11
下水道事業が企業会計に移行します	12
指定管理とは	13
常任委員会管内調査報告、議会の動き	14・15
議会報告会を開催します	16

# 平成30年度 南魚沼市一般会計補正予算(第7号)

## 6億8,496万円を追加し

## 総額320億2,594万5,000円

### 主な補正内容

- ・市内小中学校へのエアコン設置費
- ・地域医療連携事業負担金
- ・企画プロモーション事業費
- ・介護基盤整備事業費補助金
- ・生活保護扶助費

## 質疑応答

Q & Aは一部のみを掲載しています。

### 学校施設等整備事業費

- Q** 市内小中学校18校のエアコン設置に係る大きな事業だが、市内業者が参入する余地はあるのか。
- A** 市内業者で考えている。

- Q** 節電なども考えなければいけない中で、エアコンをどのように運用していくのか。
- A** まだ決まっていないが、エアコンの設定温度等を協議している。

- Q** 国の補助金事業により、全国一斉のエアコン設置になるが来年度の夏までに設置できるのか。
- A** 連休等を利用して6月中には設置を完了させる予定である。

- Q** 雪冷房の利用はできないのか。
- A** 補助金の関係で今回は通常のエアコンにせざるを得ない。

### 企画プロモーション事業費

- Q** 昨年と同じ貯雪量で減額されている理由は。

- A** チップ保存用の擁壁分が減額になった。

- Q** 南魚沼に人を呼び込むのが重要だ。そこを含めて雪を使っていく考えはあるか。
- A** 検討チームをつくり、効果的に情報を発信する。また南魚沼に来ていただくための検討をしている。



### 地盤沈下対策事業費

- Q** 節水機器設置補助はどの程度の件数を見込んでいるのか。
- A** 239件と見込んでいる。

- Q** 地盤沈下のデータを市民にリアルタイムで公表していくべきでは

- ないか。
- A** 現在は一日遅れで公表している状況。担当課としてはリアルタイムで公表できるよう今後進めていく。

### 庁舎整備事業費

- Q** 大和庁舎の空きスペースに間仕切りを設置するとの説明だが、どのような利用を考えているか。
- A** 民間への賃貸を予定している。

### 保健衛生対策費 (米ねっと更新費)

- Q** ソフト部分の更新もはいつているのか。
- A** 今回はシステム部分のみで、ソフト部分は協議中である。

### 土地改良事業費 (濁水における消雪パイプ電気料)

- Q** どれぐらいの成果があったか。
- A** アンケート結果は100%大変効果があったとの回答であり、効果は絶大であったと考えている。

# 平成30年 12月定例会 の概要

12月定例会では、補正予算や条例の改正などが議案になりました。その他に、市有施設の指定管理者の指定や、教育委員の任命、人権擁護委員の推薦についても審議されました。

- 本会議は12月3日、10日～12日、14日の5日間。常任委員会は5日～7日に開かれました。
- 議決結果は4ページをご覧ください。

## 議案 審議

Q & Aは一部のみを掲載しています。

### 第93号議案

#### 南魚沼市都市計画税条例の廃止について

**Q** 条例が廃止されることで喜ぶ声もあるが、予定されていた事業が実施されるか不安の声も聞かれる。税収はなくても、事業は実施していくのか。

**A** これまで計画していた必要な部分については、着実に前に進めていく。

### 第95号議案

#### 上の原公園観光施設の指定管理者の指定について

**Q** 合併以来、様々な施設を指定管理で委託してきたが、地元任せなど、方法を見直す時期ではないか。

**A** 一定の役割が終わったと考えられる場所もあり、協議は始めている。公共施設の管理は産業振興部だけで

### 第97号議案

#### しゃくなげ湖畔観光施設の指定管理者の指定について

**Q** 鳥獣被害パトロールが含まれているが、広いエリアの中で効果が上がっているのか。

**A** 2名体制で行っており、テレメトリー調査によって効果が上がっている。



テレメトリー調査のための発信機装着

### 第98号議案

#### 六日町駅前中央駐車場の指定管理者の指定について

**Q** 市からの委託管理料はなく、駐車料金のみで運営されているので、指定管理委託をしなくても良いのではないか。

**A** 修繕費用の関係から指定管理委託を継続している。修繕等の問題もあるが、今後の管理方法について引き続き協議していく。

### 第99号議案

#### 南魚沼市福祉センターの指定管理者の指定について

**Q** 今回委託期間が10年間と長期である。建物が古いので大規模修繕等を考えなければならぬ時期だと思いが、委託期間中に修繕等が必要になるのではないか。

**A** 現在の指定管理者との協議の中で、今後10年間の委託期間中に大規模修繕等が必要との認識はない。

### 第103号議案

#### 南魚沼市民会館、鈴木牧師記念館及び南魚沼市トミオカホワイト美術館の指定管理者の指定について

**Q** 指定管理を受けている「公益財団法人南魚沼市文化スポーツ振興公社」は、他の指定管理者に比べ人件費補助が優遇されているのではないか。

**A** 六日町文化会館建設を機に、財団法人六日町文化事業振興公社として設立された歴史があり、一概には言えない。



南魚沼市福祉センター（しらゆり荘）

# 平成30年12月定例会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	議決結果
第 83号議案	平成30年度南魚沼市一般会計補正予算(第7号)	可 決(賛成多数)
第 84号議案	平成30年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可 決(全会一致)
第 85号議案	平成30年度南魚沼市下水道特別会計補正予算(第3号)	可 決(全会一致)
第 86号議案	平成30年度南魚沼市水道事業会計補正予算(第1号)	可 決(全会一致)
第 87号議案	南魚沼市上下水道部職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について	可 決(全会一致)
第 88号議案	南魚沼市下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備について	可 決(全会一致)
第 89号議案	南魚沼市職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決(賛成多数)
第 90号議案	南魚沼市税条例の一部改正について	可 決(全会一致)
第 91号議案	南魚沼市立学校設置条例の一部改正について	可 決(全会一致)
第 92号議案	南魚沼市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可 決(全会一致)
第 93号議案	南魚沼市都市計画税条例の廃止について	可 決(全会一致)
第 94号議案	南魚沼市児童遊園条例の廃止について	可 決(全会一致)
第 95号議案	上の原高原観光施設の指定管理の指定について	可 決(全会一致)
第 96号議案	大杉山ふるさと農園の指定管理の指定について	可 決(全会一致)
第 97号議案	しゃくなげ湖畔観光施設の指定管理者の指定について	可 決(全会一致)
第 98号議案	六日町駅前中央駐車場の指定管理者の指定について	可 決(全会一致)
第 99号議案	南魚沼市福祉センターの指定管理者の指定について	可 決(全会一致)
第100号議案	南魚沼市塩沢老人福祉センターの指定管理者の指定について	可 決(全会一致)
第101号議案	南魚沼市ふれ愛支援センターの指定管理者の指定について	可 決(全会一致)
第102号議案	認定こども園めぐみ野こども園の指定管理者の指定について	可 決(全会一致)
第103号議案	南魚沼市民会館、鈴木牧之記念館及び南魚沼市トモカホワイト美術館の指定管理者の指定について	可 決(全会一致)
第104号議案	南魚沼市体育施設の指定管理者の指定について	可 決(全会一致)
第105号議案	大原運動公園、欠之上クロスカントリーハウス及び石打グラウンドの指定管理者の指定について	可 決(全会一致)
第106号議案	道の駅南魚沼の指定管理者の指定について	可 決(全会一致)
第107号議案	字の変更について	可 決(全会一致)
第108号議案	市道の路線変更について	可 決(全会一致)
第109号議案	南魚沼市教育委員会委員の任命について(須藤文子氏)	同 意(全会一致)
第110号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について(中島澄江氏)	同 意(全会一致)
第111号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について(杉岡明全氏)	同 意(全会一致)
議案番号	請願・陳情	採決結果
請願第3号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書	不採択(賛成少数)
議案番号	議員発議	採決結果
発議第9号	南魚沼市議会委員会条例の一部改正について	可 決(全会一致)

## 賛否一覧表

賛否が分かれた議案、退席者がいた議案の詳細を表示しています

○=賛成 ×=反対 -=退席 欠=欠席

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長採決となります

会派 氏名	南魚みらいクラブ						歩む会				未来創政会				市民クラブ				日本共産党議員団				
	目黒哲也	吉田光利	塩川裕紀	清塚武敏	小澤実	黒滝松男	関常幸	勝又貞夫	鈴木一	塩谷寿雄	牧野晶	阿部久夫	大平剛	永井拓三	桑原圭美	中沢一博	梅沢道男	田中せつ子	佐藤剛	寺口友彦	中沢道夫	岡村雅夫	
第83号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第84号議案	○	○	○	○	※	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第89号議案	○	○	○	○	※	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

# 一般質問

一般質問の内容は一部のみを掲載しています。

## ■質問順位

1. 大平 剛
2. 永井拓三
3. 岡村雅夫
4. 佐藤 剛
5. 寺口友彦
6. 中沢一博
7. 塩川裕紀
8. 関 常幸
9. 田中せつ子
10. 清塚武敏
11. 目黒哲也
12. 中沢道夫
13. 桑原圭美
14. 梅沢道男
15. 勝又貞夫
16. 吉田光利



## 一般質問とは…

議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いただすものです。



未来創政会  
大平 剛

## 市の利雪活用をどう進めるか

**答** 雪の資源活用を産業振興につなげたい

**Q 質問** ①利雪活用の意義をどのようにに市民に対して説明していくか。

②市の公共施設等での利雪活用をどのように行っていくか。

③民間での利雪活用・事業化

をどのように促進していくか。

**A 市長** ①利雪活用の可能性・将来像について、

もっと力を入れて説明していきたいと考えている。  
②機会があれば積極的に導入を進めていきたいと考えている。

③まずは雪室の活用と事業の推進、雪室食材のブランド化を進めていく。それと共に、電源消失時の冷却エネルギー源として、たとえば医療品の保管庫として災害時にも活用できると考えている。



未来創政会  
永井拓三

## 働き方と保育・教育制度は

**答** 社会的な要請・需要に対応していく

**Q 質問** 日曜保育を受け入れられる保育環境を今後どのように整備していくのか。

**A 市長** 現在、休日保育の定員に対する利用状況は十分に受入れできている。利用者が固定化している状況だ

が、全体的な需要の分析はできていない。子どもが病気の時、祖父母がみられる、親が仕事を休める社会体制が望まれる。

**Q 質問** 求人と仕事のマッチングはどのように進めていくのか。

**A 市長** 当市の有効求人倍率は3倍以上もあるため、職種を選ばなければ仕事がある。一方で、仕事のマッチングに関しては満足はいく結果は得られていない。この地域の新規創業の可能性や、新たな雇用体制なども今後議論を進めていく必要がある。

**Q 質問** 今後10年でさらに変わる働き方と社会構造をどのように予想し、対応策を考えているか。

**A 市長** 未来の働き方の予測は難しいが、労働者を取り巻く環境が大きく変化していることを受けて、就業機会の拡大、意欲、能力を充分発揮できる環境づくりを進める。農業、観光全てにIoT、IOAなどのIT技術を使っつつながら方が生まれている。



日本共産党議員団  
岡村雅夫

## 新ゴミ処理施設 2巡目の説明会の 感触は

**答** 厳しい意見賛成意見はわずか

**Q 質問** 反対署名をした4集落の説明会が終わったが、感触を伺う。

「決定している訳ではないが、決めさせていたきたい」その一方では、「一つの集落が反対でも実施できない」では矛盾しているのではないかと風評被害など厳しい意見をいただいた。市内のどこかに造らなければならぬ施設であり、最適地として考え選定している。最終的な判断において、同意が得られなければなかなか進められないと思っている。

**Q 質問** 当初、コンサルの提案が、近隣の同意が得られず断念した。結果、市主導で予定

地を決めた。強引に進めるなら集落内で混乱を招く。当時、島新田区に3,000万円の補助金交付があったとの説明は分断工作ともとれる。大学には誤算だが、他の候補地選定に舵を切るべきだ。

**A市長** 時間をかけ理解を求めていく。補助金は1巡目から示せば非礼に当たると考え今回示した。必要なものはどこかに造らなければいけない。



新ごみ処理施設建設候補地



市民クラブ  
佐藤 剛

### 在宅医療を どう進めるか

**答** 「米ねっと」更新等で連携を強化し進める

#### Q 質問

市の65歳以上高齢者の一人暮らしが急増しているが、全国推計でも2040年には全世帯数の17%を超える。あわせて医師数、回復期慢性期医療の施設が少ないこの地域では通院困難の高齢者が今後も増える。また高齢社会後に来る「多死社会」では、病院死が病院の許容を超え、在宅対応ができなければ「看取り難民問題」が懸念されている。そういう中で、在宅医療の実現は、在宅医療を担う施設の充実、訪問看護の施設、訪問看護師体制の強化にかかっている。これらの体制をどう進めるか。

また、限られた医療資源では効率的な情報共有の体制が

必要になる。システム更新する「米ねっと」には参加する医療、介護施設等の拡大、市民の登録増が求められる。在宅医療実現と地域包括ケアシステムにもつながる重要部分だ。どう進めるか。

#### A市長

在宅医療体制を強化していく必要がある。医療機関の連携を強化し郡市医師会の在宅医療推進センターを中心に進めたい。また、看護小規模多機能型居宅介護や機能強化型訪問看護ステーション等を進め、訪問看護師を増やして在宅環境を整える。「米ねっと」更新は、情報共有や利便性などを訴えながら参加機関や市民の登録を増やして、地域全体の連携体制を目指していく。



市民クラブ  
寺口 友彦

### 固定資産税減免の 企業誘致の総括は

**答** 大きな効果があった

#### Q 質問

雇用の確保に向け、固定資産税の減免を行ってきたが、高校生の将来就きたい職業アンケートからも、人材のマッチングができないのでは。

#### A市長

平成16年から取り組む、28社343人の新規雇用が生まれた。投資総額120億円、減免額1億5,000万円であり、雇用や職場の減少対策に効果があった。しかし、近年は労働力不足が深刻で、将来的にはここにある企業のための施策が大事だ。

### 十二沢川への 雨水流入調査をせよ

**答** 国・県との流入量調査は考えたい

#### Q 質問

平成28年完成予定の十二沢川浸水対策工事はまだ完了していない。河川改修や道路改修に合わせ雨水の流入緩和対策や国・県との流入量調査を行うべきではないか。

#### A市長

地盤が弱く完了が遅れているが、国道付近は31年度末、JR付近は32年



未来創政会  
中沢 一博

### 来年度重点施策と 未来への投資を

**答** きちん対応しよう

#### Q 質問

①来年度の重点施策は。②幼児教育の無償化が一段と進む中、多子世帯の給食費の考え方を伺う。③少子化が進む中、近年出産費用が多額になっている。市独自の「出産手当」の拡充が必要と考えるが。④若者のUIJターナー者に向け、今大事なのは「ひと」に焦点を当てた施策である。奨学金等の支援策が必要と考えるが。⑤消費税率引き上げに伴う「プレミアム商品券の発行」

度末で完了見込みである。平手川や伊田川からの流下能力を上げる対策を実施した。用水組合とも流入量の緩和に向けて協議を進めていく。国・県との流入量調査は考えたい。

「ポイント還元」の具体的な取組を伺う。

**A市長** ①総合計画に基づき実施する。新ごみ処理施設整備の課題を推進。雪資源の利活用。人材不足の対策取組。浦佐駅内の観光情報発信地の推進。小中学校のエアコン設置。子育て支援等、住みやすい街づくりに取り組んで参りたい。

②当市では保育の無償化で3億円かかり、税負担の詳細が明確になっていないので見守りたい。

③出産費用の増加は承知している。妊婦それぞれの状況が違うため、公平な算定が難しい。当市では医療費助成は全額負担している。これで良いと言ふことではないが、今後考えていく。

④県のUターン奨学金が拡充してきた。30歳未満が対象で年間20万円6年間支援が受けられる。当市としても家賃の補助・住宅改修補助等を行っている。今後、市の本当の支援の在り方を検討して行きたい。

⑤現時点では国から詳細が示されていない。今後、動向

を見ながらきちんと対応していく。



南魚みらいクラブ  
塩川 裕紀

**浦佐駅構内の有効利用を**

**答** まずは一歩から始めていく

**Q質問** 浦佐駅構内に観光案内所が設置される予定である。それに伴い、浦佐駅を上越新幹線、上越線、只見線、ほくほく線を利用する人々の魚沼地区の基幹駅として位置付け、地域住民及び魚沼地域の各種観光、病院、学校、文化施設を利用する人々が気軽に休憩・休息できる場所として、また、人々が交流できる場所を提供することに

より、地域の活性化を図ることが重要ではないか。

**A市長** JR東日本から、共同で地方創生を推進したいとの申し入れがあり、当市では駅を活用した活性化策の一環として市民、移住者、観光客等が多目的に利用、また交流できる施設を整備したいと平成29年11月からJR東日本と協議を開始している。

まずは国からも設置を求められている観光案内所と、駅利用者や市民が快適に過ごし、賑わいを創出する交流スペースを魚沼市と共同で設置し、運営していく方向で協議している。

来年10月から始まる新潟県、山形庄内エリアのディスプレイネーションキャンペーンの開催までに観光案内所を含めた施設をオープンさせたい。



地域の活性化につながる活用を

**議員活動の環境整備が必要だ**



南魚みらいクラブ  
関 常幸

**答** 必要性は理解している

**Q質問** 今年2月と10月に会派の政務活動で他市の議会を訪れ、当市議会も現在の環境でいいのだろうか、素朴な議論がクラブ内で沸き起こった。

議会事務局をはじめ議会の施設・環境は、合併前の「町」時代そのままだ。議会が首長とともに、二元代表制の一翼を担い、真の住民の代表機関としての役割を果たすためにも、環境の改善を進める必要がある。

①委員会室や議員控室の拡充・充実と議会図書室の設置。

②議会事務局の増員。

③会議録検索システムの導入。

**A市長** ④政務活動費の増額。  
①現在の議員控室から建設課までの4

室の利用については議会と検討したい。

②臨時職員を含め拡充を図るべきと思うが、定員管理の面から検討する。

③多くの議会で導入されており必要性は認めるが、さしせまっている議場の音響システム問題を含めて考えたい。

④増額の要望は理解できるが、財政面の問題もあり厳しい現状である。近隣や同規模議会と比較しながら議論していきたい。



鹿児島市議会図書館



市民クラブ  
田中せつ子

### 若い世代の交流機会の拡大を

**答** 他の自治体とも協力して進める

**Q 質問** ①U&Iときめき課とMMDOが協力し「結婚の希望をかなえる支援」として、今までの委託事業だけでなく多様な内容の取組が必要ではないか。  
②人口が集中している首都圏周辺自治体と婚活支援でも連携し、出会いの機会を充実し交流人口を増やして移住定住を促進させよ。

**A 市長** ①地域再生計画に沿ってMMDOだけでなく民間とも連携して進めている。  
②雪資源利活用事業で交流が始まった首都圏自治体との信頼関係を深め、今後は移住定住促進にも繋がりたいと考えている。

### 人権尊重の共生社会をどう推進するか

**答** 共生社会を目指して取り組んでいる

**Q 質問** ①南魚沼市役所の障がい者雇用は法定雇用率2.5%を下回っている。さらに積極的な取組が必要では。

②小中学校での人権教育はいじめ防止と社会全体への理解促進にも重要、現状と課題は。  
③性的少数者への理解促進は新たな課題だがどう進めるか。

**A 市長** ①総合支援学校やハローワークとも連携して門を広げ募集している。短時間の臨時職員採用にも力を入れる。  
②学習支援センターの主事を増員し、心の教育に力を入れている。市民向けの啓発活動も続けていく。  
③実態把握が進んできたが、周りの理解は追いついていない。関係部局と連携し全力で取り組んでいく。



南魚みらいクラブ  
清塚武敏

### 新たな制度は林業の未来をどう変えるか

**答** 次世代のため森林行政が一步前に

森林整備を進めるにあたっては、所有者の経営意欲の低下、山なんか持っていないでも何にもならない、所有者不明森林、境界未確定の現状、担い手不足が大きな課題となっている。この課題に早期に対応するための新制度が来年度よりスタートする。

**Q 質問** ①森林環境譲与税、新法の効果と制度をどのように運用していくのか。  
②山の所有者境界をどのように明確化していくのか。  
③木質バイオマスや木材利用啓発をどう進める。

**A 市長** ①経営や管理が行われていない山林に対し、



市内森林風景

市町村に大きな権限が委譲され、意欲ある林業経営者等に経営管理を集積できる。森林行政が一步前進する。来年度は大枠で980万円が当市に配分される。  
②測量技術の前進もある。森林所有者の負担を軽減しながら、所有者境界の明確化は必ず取り組んで行かなければならない。  
③森林資源の新たな循環型のサイクルが必要だ。木育・環境教育や利用啓発に取り組む。バイオマス発電については魚沼地域に必要なと思う。  
来年度から薪ストーブにも補助金をだす。



南魚みらいクラブ  
目黒哲也

### デイスポーターの普及推進を進めては

**答** 近隣自治体にも普及推進していく

**Q 質問** 普及への取組は。  
**A 市長** 生ごみの減量化によって、高齢者やその家族の負担軽減、焼却炉の効率化、そしてバイオマス発電の資源化というメリットがある。当市だけでなく、魚沼市や湯沢町にも普及を促していく。

**Q 質問** 現在、月500円のデイスポーター使用料は廃止したらどうか。  
**A 管理者** 当初は、流入水量増加による処理負担と水質悪化が想定され、利用者に使用料を求めてきた。現状は処理負担も水質悪化もほとんどないため、来年度から使用料廃止を検討している。



**Q 質 問** 工務店や設備業者と連携し、普及促進していくのはどうか。

**A 管理 者** 現在、関係業者との会議において普及促進をお願いしている。

**Q 質 問** 設置補助金をリフォーム時だけでなく、新築時にも適用してはどうか。

**A 管理 者** 有効な施策と考えている。

**Q 質 問** 現在予定されている県による処理場の能力検証に合わせて、国の実証実験調査事業モデル地区に手を挙げたらどうか。

**A 市 長** 先日、国交省下水道部長にお会いし、雪国そして中間山地である当市を国のモデル地区として適しているとして強く要望して来ている。

**Q 質 問** バイオマス施策への取組は。

**A 市 長** 今後、自然エネルギーは大きなテーマである。アンテナを立てて注視していく。



日本共産党議員団  
中沢 道夫

### 負担割合が高い 国保税の引き下げを

**答** 大変な負担と認識している

**Q 質 問** 今年の国保税は昨年より引き下げになったものの、どの所得階層でも所得の10数%という負担割合で、協会けんぽや他の医療保険制度に比べても高い負担割合だ。

耐えがたい金額になっていると思うが市長はどのように受け止めているか。

**A 市 長** 大変な負担になっていくと受け止めている。

**Q 質 問** 全国知事会は政府に要求しているが、市としても要求すべきではないか。

**A 市 長** 全国市長会を通じて、継続して国に要望していく。

**Q 質 問** 子どもの均等割を減免する自治体が増えていく。当市でも子どもだけで

も減免する考えはないか。  
**A 市 長** 本来国がやるべきことで、当市ではできない。

### 住宅リフォーム制度 に代わる制度の具体 化は

**答** 必ず実施したい

**Q 質 問** 当市の住宅リフォーム制度は、大変すばらしい制度として定着しているが、市長は今年度限りで廃止を明言している。新たな制度設計はどこまで進んでいるのか。

**A 市 長** 現時点では内容を明確にはできないが、新たな制度で必ず実施したい。



未来創政会  
桑原 圭美

### 学習指導要領変更後 の教育の方向性は

### 教育活動の質を 改善する

**Q 質 問** 学習内容が増えるが、時間のない中で理解が遅れ気味な子どもに対する復習などのケアをどうするのか。

**A 教育 長** 朝、給食前、昼休み、放課後を使い、学校全体で学習指導を行う。また、夏休みを利用したサマースクールを行い、学習支援をしていく。

**Q 質 問** プログラミングや英語に対する教員の負担増への対策は。

**A 教育 長** 講師を招いての模範授業を開設し、求める授業のイメージを抱けるよう工夫していく。

プログラミング教育にはICT支援員を各学校へ派遣する。英語に関してはALTを増員して対応する。

**Q 質 問** 少人数クラス編成や教員の増員を検討すべきと思うが。

**A 教育 長** 現在も行っているが、まだまだ足りない。引き続き県に追加教員を強く要望していく。

### 市外進学者の負担 軽減のための住宅 政策を

**答** 首都圏の住宅政策に踏み込むのは難しい

**Q 質 問** 市外進学者は学費の負担や生活費の捻出に苦労している。他の自治体に存在する空き家、空き集合住宅等を借り上げて安価で提供できないか。

**A 市 長** 考え方は理解できるが、地域で質の高い教育を平等に受けられることや、市民の収入を増やすことが優先されると思う。



市民クラブ  
梅沢 道男

### 上越線の除雪体制の 充実を

**答** 改善への努力を感じている

**Q 質 問** 上越線は、昨冬も運休が頻発した。市長も

JRの除雪対応に強い懸念を示し、先の3月議会で「JRの除雪体制の改善に向け、関係市町村と連携した新たな切り口で要望を」との質問に「話し合いを始めている」と力強い答弁をいただいた。降雪期を迎え、取組みの進捗状況を伺う。

**A**市長  
そういった話をさせていたいただいた。新たな切り口とまでは言えないが、JRには県の協議会を中心に要望している。今年は監視カメラの増設や除雪車の増強等、改善への努力を感じている。

### 保育体制の充実を

**答**  
改善に向けて  
頑張る

**Q**質問  
当市の私立保育園は、すでに3歳児15対1（子ども15人に保育士1人）の保育体制が整備されているが、公立は20対1（子ども20人に保育士1人）のまま。早期に私立保育園並みに改善すべきではないか。

**A**市長  
国も15対1を推奨しているが、公立では実施に至っていない。市は、全員保育の体制を優先している。公立が遅れていることは認識し、改善に向けて頑張ろうと思っている。



歩む会  
勝又貞夫

### 防犯カメラや ドライブレコーダー の設置を急げ

**答**  
設置する方向で  
ある

**Q**質問  
小・中学校においては防犯カメラが設置されているのは24校中わずか2校で、公立保育園では17か所のうち、1か所設置されているのみだ。私立保育園では7か所のうち5か所に設置されている。市の庁舎や市民会館、デイスポート、大原運動公園など多くの公共施設にも、防犯カメラは設置されていない。設置すれば、防犯上の抑止・

予防効果もあると考えるがどうか。  
民間のバスには当然のようにドライブレコーダーが付いているが、市が運営する通学用バスには、ほとんどドライブレコーダーが付いていないのが現状だ。この件をどう考えているか。

**A**市長  
防犯上の抑止効果もあると考える。大和庁舎では、夜間・休日の庁舎内の防犯カメラを目的として、数台の防犯カメラを設置することにした。本庁舎でも夜間・休日の出入りを記録する目的で、今年度中の設置を目指したい。防犯カメラを設置すればそれでいいというものではない。何を目的に何を記録するかの議論が必要だ。防犯上の抑止効果には着目しているが、すべて監視される社会がいいとは思わない。ドライブレコーダーの設置については、今年度中に4〜5台を、追加設置する予定になっている。今後

も設置を進める方向である。



南魚みらいクラブ  
吉田光利

### 市民バス事業の将来 展望は

**答**  
常に見直しを行い  
より良い事業を  
考える

**Q**質問  
市民バスの利用者が少ない中、7,000万円を超える補助金を出している。市として、経営努力・指導はどのように行われているか。

**A**市長  
本気になって取り組まなければならないと思っている。利用者からのニーズ調査も行い、あらゆる経費削減の取組、帳簿等厳しくチェックを行っている。利用促進では老人会でのバスの乗り方教室等実施しアピールしている。

**Q**質問  
フリー乗降制の運行はできないか。

**A**市長  
実施したいと考えているが、現実的な問題に直面するところもあり、実

現していない。フリー乗降制の導入は難しい。降車については、問題を解消し次第実施したいと考えている。

### 国際環境規格の認証 取得は

**答**  
目指すに至って  
ない

**Q**質問  
市民との良好な関係、経費削減、環境破壊のリスク軽減など総合効果から、市自らの「環境行動計画」を活かし、国際環境規格ISO14001認証取得を目指すべきと、思うがどうか。

**A**市長  
メリットでは、市のイメージアップ、社会的信頼獲得、職員の意識改革がある。認証での経費負担、職員の事務負担から、認証した自治体も返上している。南魚沼市は環境行動計画をPDCAサイクルで見直し、毎年環境審査会で審査いただいている。



## 注目の事業

# 雪資源の活用事業

※オリンピック・パラリンピックをオリパラと表記しています。

### ① 雪資源活用事業とは？

南魚沼市では「雪」の魅力をもっとPRし、市民が「雪国に住む誇り」を持つことにより定住が促進されることを目標として雪資源活用事業を開始しました。当面は、2020東京オリパラの暑さ対策に利用することで雪資源の有効性を広く周知し、最終的には雪冷房の普及や雪室などによる産業振興で市民の生活を豊かにすることが目標です。

### ② 雪室とは？

雪室は古くから雪国で活用されていた冷蔵庫です。一時は電気冷蔵庫の出現により姿を消していましたが、近年の省エネやエコの考え方に加え、一定温度での冷蔵が可能で食物等の熟成が進みやすい、高湿度の状態で保存できるなど多くの効果が確認され、再び活用が増えています。市内でも、日本酒やお米をはじめとする農産物など、様々な飲食物が保存されています。

### ③ どんなことをしたの？

大きな雪山(2,000㎡)を作り、厚さ50cmのウッドチップで保温することで、次の冬まで貯雪することができました。この雪山から雪を取り出し、JR貨物のコンテナで首都圏に運搬してイベントを行いました。

特に、平成30年7月末にお台場で開催されたビーチバレーボールワールドツアー会場では、雪のクーラーでテント内を冷房し、テレビや新聞に取り上げられたことから、県外からも多くの問い合わせがありました。

### ④ オリパラの暑さ対策に向けて

この夏が猛暑だったこともあり、暑さ対策の必要性が議論されています。自然再生エネルギーである雪を利用した冷房でオリパラの暑さ対策を行うことは、雪国の魅力や文化を世界に発信する絶好のチャンスです。

具体的な内容は、今後東京2020組織委員会など関係団体と協議しているところです。平成31年の夏にはオリンピックテストマッチに参加して準備を進める予定です。



雪山の保温作業

### 雪のクーラー

上部に家庭用の換気扇を設置し、プラスチックコンテナ内で冷えた空気を吹き出す。吹き出し口は10～12度の冷気を送風。

一番上と真ん中のプラスチックコンテナには雪を充填。中心部に直径10cm程の風洞を作り、その中を通った冷えた空気が吸い上げられる。

一番下のプラスチックコンテナで融解した水を受ける。貯まった水は雪の補充時に排水。



- 2間×3間のテントに10台設置した場合、外気温マイナス5～7度の冷房が可能。
- プラスチックコンテナ内の雪は、90分ほど残っているが、真ん中の風洞が大きくなると吹き出す冷気の温度が上がってしまうので、60分に1回程度の補充で運用。
- 運用上問題となるのは、雪の補充と排水のための人員配置。
- 1時間当たり、1台で50kg程度の雪を消費。

雪の利活用事業で行った実際の様子を動画サイトYouTubeにてご覧いただけます。

雪資源 動画 南魚沼市

検索

# 下水道事業が企業会計に移行します

**下水道事業を地方公営企業法（全部適用）に移行**

南魚沼市では、合併前の各町の下水道事業を引き継ぎながら、公共下水道事業、特環下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽市町村整備推進事業等により、精力的に面整備を進めてきました。そして、平成27年度には基本的な面整備（下水管等の施設整備）の完了をみたところですが、これにより、生活排水の排除や汚水の適正な処理による生活環境の改善、水質の保全などが図られてきました。

この下水道事業によるサービスを今後も安定的に提供するためには、限られた予算の中で効率的な事業運営を行うことが必要となります。そのため、経営内容や財政状況を的確に把握し、事業の将来推計や適切な事業計画の策定等を一層確実なものとするため、地方公営企業法を全部適用することになりました。

**地方公営企業法（全部適用）とは**

地方公営企業法とは、地方公共団体が経営する企業活動を総称したもので、適用する法の規定の範囲については、法の全部を適用する「全部適用」と、財務・会計に関する規定のみを適用する「一部適用」があります。南魚沼市では下水道事業は既に「全部適用」で運営されており、下水道事業においても面整備（下水管等の施設整備）の完了を見たことから、平成31年度から全部適用へ移行することになりました。

**組織体制の変更**

下水道事業の地方公営企業法（全部適用）に伴い、組織体制も一部変更となります。

平成31年度より水道事業及び下水道事業の管理者を市長とし、水道課、下水道課、上下水道料金センターを所管する部署として、新たに上下水道部を設置することになりました。

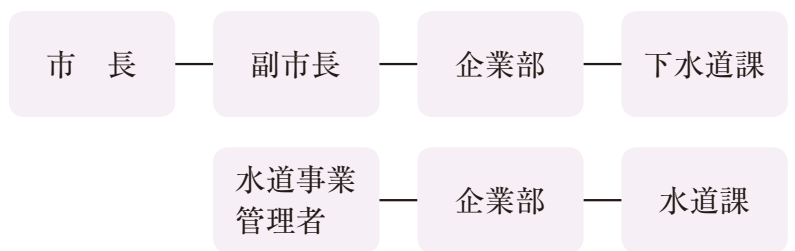


南魚沼市浄水場

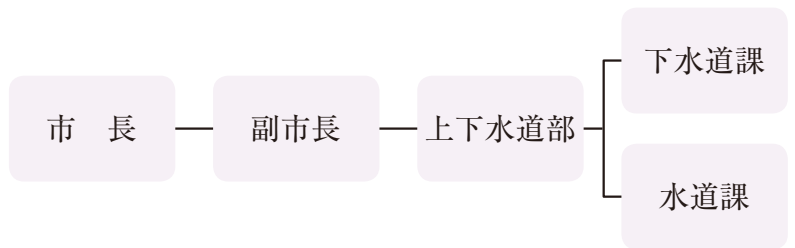


下水道管布設工事

## これまでの組織図



## 水道課が全部適用になると



# 指定管理とは

地方公共団体が、住民の福祉を増進する目的で設置した公の施設の管理運営を、地方公共団体が指定した民間事業者を含む法人・団体に行なわせる制度です。

民間の活力を導入し、公共サービスの質を高めるとともに、管理費を低く抑え、自治体の経営改善を図る目的で、平成15年の地方自治法の改正に伴い導入されました。この制度により、民間企業・NPO法人・任意団体なども指定管理者として施設の管理運営を代行できるようになりました。具体的な業務範囲は条例で定められています。指定管理者は、この条例に基づいて、施設の利用料金を收受・変更することができます。

## 《公募形態》

A Ⅱ施設の性格及び設置目的に照らし、公募によらず指定管理者を指定

B Ⅱ当面の間は、公募によらず現行の管理受託者を選定

C Ⅱ公募による選定

注：下記の一覧表には、指定管理56事業のうち、公募形態のBとCのみを記載

## 南魚沼市公の施設指定管理者一覧

平成30年4月1日現在

施設名	指定団体	委託料	公募形態	指定期間
南魚沼市農産物・特産品直売所	しおざわ農業協同組合	360万円	C	5
八海山麓観光施設	株式会社アクティ	1,228万円		
南魚沼市農業体験実習館	レイホー八海管理組合	112万円	B	
上町保育園	学校法人 里咲学園	8,292万円	C	
南魚沼市可燃ごみ処理施設付属施設	有限会社 まちだプランニング	370万円		
南魚沼市斎場	株式会社 飛鳥	3,515万円	B	10
川舟展示室	魚野川の川舟を復元する会	15万円		
道の駅南魚沼	一般社団法人 南魚沼市観光協会	3,031万円		
棟方志功アートステーション		50万円	C	5
南魚沼市民会館	公益財団法人 南魚沼市文化スポーツ振興公社	委託料：1,736万円 人件費補助：2,347万円		
鈴木牧之記念館		委託料：312万円 人件費補助：819万円		
南魚沼市トミオカホワイト美術館		委託料：415万円 人件費補助：914万円		
大原運動公園	BMS南魚沼スポーツコミュニティ	1,800万円		
五日町雪国スポーツ館	公益財団法人 南魚沼市文化スポーツ振興公社	委託料：2,369万円 人件費補助：4,320万円		
欠之上クロスカントリーハウス				
小栗山サンスポーツランド				
塩沢勤労者体育センター				
二日町体育館				
二日町グラウンド				
塩沢グラウンド				
石打グラウンド				
大福寺工業団地多目的広場				
南魚沼市スポーツコミュニティセンター				
南魚沼市大和B&G海洋センター				
中之島農村広場				
すばーく塩沢				
大和野球場				
浦佐体育館				
浦佐グラウンド				
南魚沼市ふれ愛支援センター	社団法人 南魚沼シルバー人材センター	561万円	B	10
浦佐認定こども園	医療法人社団 萌気会	1億9,064万円	C	
南魚沼市モンスターパイプ	南魚沼市モンスターパイプ管理組合	970万円		
南魚沼市トレーニングセンター	株式会社ベースボールマガジン社	550万円		5

## 総務文教委員会 管内調査

Q & Aは一部のみを掲載しています。

○期日 平成30年10月16日

### 調査内容

#### ①都市計画税の見直しについて

平成31年度以降の都市計画税のあり方について、次の3つの案を検討した経緯と結果が税務課長から説明された。

案1 都市計画税を、新たな用途地域も含め課税を続ける。

案2 都市計画税は廃止するが、減収相当分を固定資産税に上乗せして課税する。

案3 都市計画税を廃止する。

案1は、用途地域が見直しにより拡大しているため、税収は若干増えることが見込めるが、新たに都市計画税が課税される市民・法人から理解を得ることは、極めて難しいことが予想される。

案2は、同程度の税収を確保でき、一律公平な税負担となる。しかし、県内に標準税率を超えて課税する市町村はなく、償却資産に対してでも上乘せされることも含め、市全体に新たな税負担を求めることになる。

全庁的な検討の結果、税収は失われるが一律公平な税負担となり、従来の方針とも合致する案3を採用することとし、都市計画税を廃止する方針を決定した。また、この方針については、市長が9月定例会一般質問での答弁で表明している。報告を受け、税収減の影響と対策について質疑を行った。代りの財源はなく、歳出抑制により対応するとの回答があった。

#### ②MMDO（一般社団法人 南魚沼まちづくり推進機構）への委託事業について

U&Iときめき課長から説明があり、次のような質疑と答弁があった。

Q MMDOの体制で、多数の委託事業を全て実施できるのか。

A 市と一緒に実施しながら、体制について協議をしている。市としては、月に一回程度MMDOとの話し合いも継続しており、何かがあれば相談をしながら今後も進めたい。

Q 首都圏のセミナーについて、その後の継続したケア、結び付けはどうしているのか。

A SNSなどによって連絡を定期的に取り、来訪の頻度を上げるための移住や起業に関する情報を流したり、食と酒の情報発信やイベントを検討したい。

Q 委託料の2,600万円は効果的に執行されているのか。

A 実際の費用対効果について、2,600万円をかけた効果がどうだったかという振り返り、検証が足りないとは考えている。平成30年度の取組についても同様である。再度検証を行い、次の事業に生かしていかなければならないと考えている。

## 産業建設委員会 管内調査

Q & Aは一部のみを掲載しています。

○期日 平成30年10月29日

### 調査内容

#### ①畔地浄水場の延命化の取組について（含現地調査）

水道事業管理者、水道課長、下水道課長より現地説明及び資料説明を受けた。

地下水の検証期間を設け、それを浄水場の延命化の期間に重複させて行いたいものである。取水能力、水質（水の安全性）、地盤沈下の影響を調査した上で、可能であれば常用水源に移行させる。

浄水場施設の建築物、土木構造物（池）はまだ新しく健全である。ただし電気計装や機械設備の一部は耐用年数を経過しているため、事故リスクを抱えながら事後修繕を繰り返している。浄水場の資産構成は、土地建物で約49億円、電気計装及び機械設備等で75億円、合計124億円である。現在までのおおきな更新は、中央監視システムの一部更新で7億円、薬品注入機材の一部変更で2億円である。今回の延命化修繕計画では、耐用年数を超えた使用可能期限を設け、さらに運転管理上のリスクの大小も見極めたうえで更新と修繕を見極めていく。

Q 地域別配水方式に移行了場合浄水場の活用が課題になる。活用できなければ損失が生まれるということがあるか。

A 償却費は残るため、償却自体は資産を廃止せずに継続する形になる。廃止してしまうと補助金の返還が生じるため、施設は現状で残

し、可能であれば活用できる形で検討する。

#### ②マンホール更新事業について（含現地調査）

企業部長、下水道部長より、現地説明及び資料説明を受けた。

更新前のマンホール蓋は古く耐荷重が14tで、大型車が通った場合割れる心配がある。蓋開け用フックの穴も自由に水が入る状態であるため水が流れてくると不透明水となる。交換対象が市内でおよそ2,000か所ある。

事業費は蓋1か所の交換で30万円から35万円かかる。今年度は300か所を予定しており、事業費は合計で約1億円である。

Q 更新対象は、流域の關係に限定しているのか。それとも、老朽化を優先し農集や特環の処理場を持っているところも含めて実施しているか。

A 対象は流域には限定せず、施工が古い箇所、不透明水が侵入する場所や消雪パイプ路線を中心に実施している。



# 社会厚生委員会 管内調査

Q & Aは一部のみを掲載しています。

○期日 平成30年10月23日

## 調査内容

### ①保育の現状と課題について(含 現地調査)

現地調査を行い、福祉保健部長、子育て支援課長から資料に基づいて説明を受けた。

毎年度末、子ども・子育て会議において保育園の利用定員を決めている。29年度に比べ30年度は50名ほど利用定員が減少した。幼児教育の段階的無償化は、平成31年10月から本格実施するものと考えているが、国からいまだに特別保育の対象範囲等明確に示されていない部分がある。

今後見込まれる児童数の減少に伴い、定員を大きく割り込む園が想定されることから、具体的に児童数の適正規模と園の再編成について検討していきたい。

**Q** 適切な児童数とは。

**A** これから専門的な委員の意見を聞いて検討していきたい。1学年の人数が2桁になる程度に集約していくのが適切ではないかと考えており、早急に対策を考えたい。

### ②新ごみ処理施設建設の進捗について

市民生活部長から資料に基づいて説明を受けた。

1巡目の説明会は3月中旬から約3か月かけて行い、その後、武蔵野市、上越市の先進施設の視察を行った。8月19日には専門家による講演会を行った。また、6月21日には周辺4集落から建設反対の署名、請願

が提出されたが、8月の議会全員協議会で申し上げたとおり、市としては2巡目の説明会を開催し、その中で判断を願いたいと考えている。

**Q** 湯沢町、魚沼市との連絡、調整はどのようになっているか。

**A** 9月に3首長が集まっていただき、この内容を表明すること、その裏には道路改良や迂回路建設、エネルギー利用の施設建設など、費用がかかるということについても理解していただいた。2市1町の合意を得た上でこの資料を作成している。

### ③その他

市民病院事務部長から「新公立病院改革プランについて」の報告があった。

介護保険課長から「第7期介護保険事業計画の変更について」の報告があった。

福祉保健部長から「うおぬま・米ねつとの新年度に向けた取組について」の報告があった。

廃棄物対策課長から「可燃ごみ処理施設運転状況について」の報告があった。



## 議会の動き

9月3日～21日 平成30年9月議会定例会

7日 荒川公平氏との意見交換会

9日 平成30年度東地区市民明朗大運動会

10日 片貝まつり大花火大会

20日 中華人民共和国成立69周年祝賀レセプション

23日～24日 大原はだか祭り

28日 国際大学新入生歓迎の日

10月1日 南魚沼市表彰式

5日 南魚沼市消防審議会

6日 金城幼稚園・保育園第53回運動会、東京やまと会

8日 第14回南魚沼市高齢者大運動会六日町地域大会

9日 議会広報編集特別委員会、第13回塩沢地域高齢者大運動会、南魚沼職業能力開発運営協議会理事会並びに代議員会

10日 埼玉県久喜市議会視察来訪、山口県下関市議会視察来訪

11日～12日 第80回全国都市問題会議

14日 平成30年度消防団秋季連合演習

16日 議会広報編集特別委員会、総務文教委員会、グローバル・Tパーク南魚沼二周年記念講演会

17日 栃木県日光市議会視察来訪

18日～19日 坂戸市・南魚沼市友好都市議員交流会

19日 首都圏六日町会

20日～21日 第18回坂戸よさこい

23日 社会厚生委員会、南魚沼市老人クラブ連合会第14回福祉大会、大坪賢次氏交流会

26日 十日町市・魚沼市・南魚沼市議会役員会合同研修会

29日 平成30年第2回魚沼地域特別養護老人ホーム組合議会、産業建設委員会

30日～11月1日 南魚みらいクラブ

2日 住宅委員会、第4回ジャパンツーリズムアワード大賞受賞祝賀会

4日 「浦佐毘沙門堂の裸押合」重要無形民俗文化財指定記念シンポジウム懇親会

9日 魚沼菊花展・浦佐菊まつり特別賞表彰式

10日 五日町小学校閉校記念式典

13日～15日 歩む会政務活動(秋田県秋田市等)、未来創政会政務活動(広島県呉市等)

14日～15日 市民クラブ政務活動(長野県長野市等)

17日 大巻小学校閉校記念式典

19日 一般国道17号湯沢南魚沼道路整備促進期成同盟会要望会

22日 議会運営委員会

26日 中越地区市議会議長会

28日 平成30年度南魚沼市除雪車出動式

12月1日 石打丸山スキー場安全祈願祭・レセプション

# 議 会 報 告 会 を開催します

申し込みなどは不要で、どなたでも参加できます。

ぜひ、お誘い合わせてお越しください。  
たくさんの方のご参加をお待ちしています。

## 開催日・会場

- 塩沢地域  
平成31年4月16日(火) 午後7時から  
塩沢公民館1階 講堂
- 六日町地域  
平成31年4月17日(水) 午後7時から  
市役所本庁舎2階 大会議室
- 大和地域  
平成31年4月18日(木) 午後7時から  
大和公民館2階 大会議室

## 内 容

- 31年度予算（3月議会で審議）について
- 新ゴミ処理施設の建設について
- 市民の皆さんとの意見交換

※写真は前回の様子です。



塩沢会場



六日町会場



大和会場

## 編 集 後 紀

本年がみなさまにとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

編集委員 目黒 哲也

市民のみなさまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。本年は「亥」年。十二支の最後です。巷では、昨年、砂防ダムに迷い込こんだ2匹の猪を救出するニュース等でちよつと早く猪が世間をお騒がせしました。さて亥は、猪肉の栄養価が高く病氣予防になることから無病息災の象徴とされています。また目標に向かって猛進していく人を助ける「火の神の化身」ともされています。その亥年ですから、市のますますの発展と住民福祉のより向上に向けて、成果を出すべく猪突猛進して参る決意であります。

## 3月議会 予告

3月に市議会定例会を開催します。

2月25日～3月15日（予定）

お問い合わせは 議会事務局（☎773-6650）へ

委 員 長	吉 田 光 利
副 委 員 長	梅 沢 道 男
委 員	大 平 道 剛
委 員	目 黒 哲 也
委 員	中 沢 道 夫
委 員	勝 又 貞 夫
委 員	塩 谷 寿 雄

議会広報編集  
特別委員